

参考資料 6 : P C B 調査報告書

検体採取作業報告書

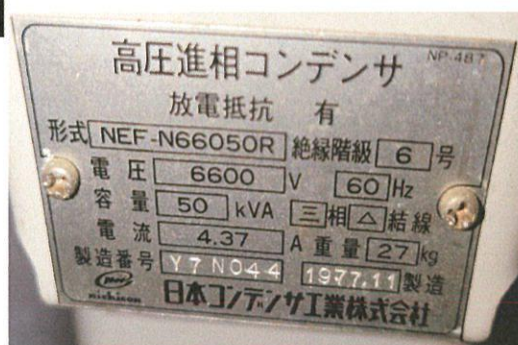
くらしき山陽ハイツ様での作業 令和 4 年 3 月 1 日

機器の保管状態

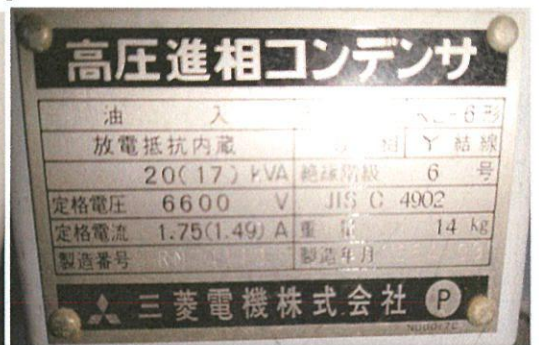


機器の種類

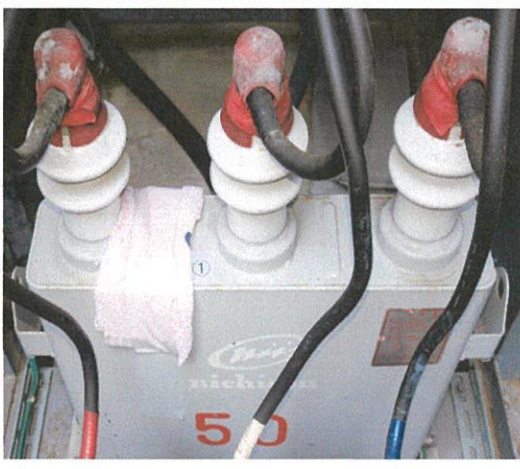
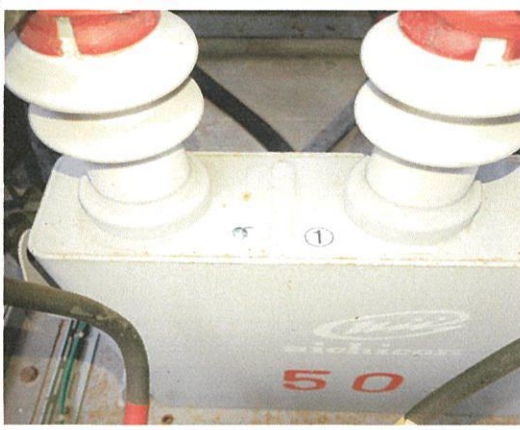
①



②



①の作業



②の作業



排出事業者：倉敷市

排出事業場：くらしき山陽ハイツ

排出事業場所在地：岡山県倉敷市有城1265

※都道府県はフルダウリストより選択下さい																			
機器番号	PCB特指法届出番号	機器情報					微量判定 JEMAリスト照合結果 高濃度に該当しない場合は“●”	絶縁油			機器重量			機器寸法(m)			その他		
		機器分類	定格容量 変圧器(kVA) コンデンサ(μF) トラム本数	製造者	製造年月 (西暦で ご記入下さい)	型式		製造番号	機器内 絶縁油の 含有量 (mg/kg) = PPM	油量 (L)	油重量 (kg)	総重量 (kg)	筐体重量 (kg)	中吊重量 (kg)	縦	横		高さ (蓋まで)	高さ (フッティング まで)
記入例	01-001	フルダウリストより選択	250	三菱電機	2015年1月	GHI-1234	J567890K	0.8	50	自動計算	120	自動計算	40	0.65	0.8	1.05	1.3	フルダウリストより選択	
#1		変圧器	50	三菱電機(株)	1979年	SF	D280428	有	67	60	235	175		0.7	0.5	0.8		フルダウリストより選択	
#2		コンデンサ	20	三菱電機(株)	1984年3月	KL-6	RM74112	有	2	2	14	12		0.1	0.4	0.5			
#3		コンデンサ	50	ニチコン	1977年11月	NEF-N66050R	Y7N044	有	3	3	27	24		0.1	0.5	0.6			
#10										0	0	0							
合計								赤字は想定値		72	65	276	211						
ECO-SYSTEM JAPAN CO.,LTD.																			

ECO-SYSTEM JAPAN CO.,LTD.

大角 知登世

検査報告書

くらしき山陽ハイツ 殿

発行No NK059478-01V-1 1/1
発行日 2022年3月10日

試料受付 2022年3月2日 採取区分 持ち込み
試験期間 2022年3月2日 ～ 2022年3月10日
件 名 絶縁油中のPCB分析

ユーロフイン日本環境株式会社
本社・事業所 横浜市金沢区幸浦2-1-13
電話 045-780-3851
計量証明事業所 神奈川県知事登録 濃度第1号
検査責任者 関 淳也

ご依頼を受けました試料について、検査の結果を次の通り報告いたします。

製造番号	Y7N044			
機器名	コンデンサ			
定格容量	50kVA			
型式	NEF-N66050R			
製造日	1977年11月			
製造者	日本コンデンサ工業株式会社			
採取場所	岡山県倉敷市有城1265			
採取月日	2022年3月1日			
採取時間	-			
検査の対象	検査の結果	基準	単位	検査の方法
(含有量試験)				
PCB	0.40	0.5以下	mg/kg	H23簡易測定法マニュアル 2.1.2(GC(ECD)法)
以下余白				
判定	上記項目は、基準に適合しています。			
備考)				

検査報告書

くらしき山陽ハイツ 殿

発行No NK059478-01V-2 1/1
発行日 2022年3月10日

試料受付 2022年3月2日 採取区分 持ち込み
試験期間 2022年3月2日 ~ 2022年3月10日
件 名 絶縁油中のPCB分析

ユーロフイン日本環境株式会社
本社・事業所 横浜市金沢区幸浦2-1-13
電話 045-780-3851
計量証明事業 神奈川県知事登録 濃度第1号
検査責任者 関 淳也

ご依頼を受けました試料について、検査の結果を次の通り報告いたします。

製造番号	RM74112			
機器名	コンデンサ			
定格容量	20kVA			
型式	KL-6			
製造日	1984年3月			
製造者	三菱電機株式会社			
採取場所	岡山県倉敷市有城1265			
採取月日	2022年3月1日			
採取時間	-			
検査の対象	検査の結果	基準	単位	検査の方法
(含有量試験)				
PCB	0.15 未満	0.5以下	mg/kg	H23簡易測定法マニュアル 2.1.2(GC(ECD)法)
以下余白				
判定	上記項目は、基準に適合しています。			
備考)				

【PCB含有廃棄物の判断について】

1. 絶縁油を封入した電気機器について

PCB（ポリ塩化ビフェニル）は燃え難く、電気絶縁性に優れていたため、トランスやコンデンサ等の電気機器の絶縁油として広く使用されました。しかし有害であることが判明したため、昭和47年以降は製造や使用が禁止されました。

ただし、使用禁止後もPCBが混入している場合があると判明し、日本電気工業会によれば、平成3年（1991年）以降は工業会に加盟するメーカーの電気機器においては出荷段階においてPCB混入はないと判断されている状況です。

PCBは意図して使用した機器と意図せず混入した場合があります、PCB濃度に応じて高濃度PCBと低濃度PCBに区別され、処分先等が異なってきます。

PCB濃度による区分、処分先は次の表の通りです。

		高濃度PCB	低濃度PCB	PCB非含有
絶縁油中のPCB濃度		5,000mg/kg超	0.5mg/kg超 ～ 5,000mg/kg	0.5mg/kg以下
拭き取り 試験方法※1		1mg/100cm ² 超	0.1μg/100cm ² ～ 1mg/100cm ²	0.1μg/100cm ² 以下
部材 試験方法 ※2	汚泥、紙くず、木くず又は繊維くずその他 ポリ塩化ビフェニルが塗布され、又は染み込 んだ物が廃棄物となったもの	100,000mg/kg超	0.5mg/kg超 ～ 100,000mg/kg	0.5mg/kg以下
	廃プラスチック類のうち、ポリ塩化ビフェ ニルが付着し、又は封入されたもの	100,000mg/kg超	0.5mg/kg超 ～ 100,000mg/kg	0.5mg/kg以下
	金属くず、ガラスくず、陶磁器くず又は工 作物の新築、改築若しくは除去に伴って生じ たコンクリートの破片その他ポリ塩化ビフェ ニルが付着し、又は封入された物が廃棄物と なったもの	5,000mg/kg超	0.5mg/kg超 ～ 5,000mg/kg	0.5mg/kg以下
処分先		中間貯蔵・環境安全事 業株式会社 (JESCO)	無害化認定処理施設 (国または自治体が指定)	産業廃棄物処理業者等

※1：絶縁油が採取出来ない場合などに、機器壁面などにPCBが付着しているか検査する方法です。

※2：絶縁油が採取出来ない場合などに、機器部材や絶縁紙、ウエス、汚泥などにPCBが含有して
いるか検査する方法です。（低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法及び平成4年厚生省告示192号に基づく）

2 PCBが含有していた場合の処置について

高濃度PCBもしくは低濃度PCBに該当した場合は、次の3点の遵守が法律で定められています。

【①行政への届出 ②適正保管 ③期限までの廃棄】

①行政への届出について

岡山県内の届出先は次の通りです。

岡山市：岡山市環境局産業廃棄物対策課（086-803-1303）

倉敷市：倉敷市環境リサイクル局リサイクル推進部産業廃棄物対策課（086-426-3385）

上記以外：岡山県各県民局

備前県民局環境課（086-233-9805）

備中県民局環境課（086-434-7007）

美作県民局環境課（0868-23-1227）

②適正保管の概要

- ・保管場所は雨水が当たらない場所とし、その周囲に囲いを設け、特別管理産業廃棄物を保管している旨の表示をする。
- ・誤廃棄を防止するため、PCB廃棄物であることを示すラベルの貼付をする。
- ・PCBが環境中に飛散・流出・地下浸透しないように、トランス等を鋼製容器やオイルパンに収納する。
- ・PCBを含んだ廃油やPCB汚染物、PCB処理物は容器に入れ密封する。
- ・損傷、漏洩した時は、鋼製容器への収納又は目止め材による補修が必要です。

③期限までの廃棄

高濃度と低濃度で処理期限が異なりますが、期限内の処理が義務付けられています。

	高濃度PCB	低濃度PCB
廃棄期限	廃棄期限を過ぎています。 検出時は行政へ連絡お願い致します。	令和9年3月末